

# U-22 プログラミング・コンテスト2017

第 047号



U-22プログラミング・コンテスト  
公式Webサイト>>> <http://www.u22procon.com/>

発行：U-22プログラミング・コンテスト運営事務局

## 1 応募ジャンル・プログラミング言語は自由！

U-22プログラミング・コンテストの最大の特徴は制限が少ないこと。制限という制限は年齢とプログラミング技術を使った作品であるという2点です。

同種のほかのコンテストでは言語やジャンルを指定しているものも多いですよ。

そんな中、U-22プログラミング・コンテストでは、なぜ制限が少ないのか？  
答えは単純。ジャンルや言語にとらわれない、皆さんのアイデアを形にした作品を見たいからです。

去年参加した学生から「AI」というジャンルがあったら良かったのに、という感想を聞きました。

そういった感想を受けて、今年から「AI」を新たなジャンルとして追加しました。

しかし、去年であってもジャンル不問なのですから、「AI」技術を使った作品は応募できたのです。

書いていないから応募できない、そのように思わずに、まずは挑戦してみることが大切、私たちはそのように考えています。

もし「●●」は応募できないかも、と心配に思ったら、一度事務局へお問い合わせください。案外すんなりと応募できるかもしれませんよ。

社会人とは異なるアイデア、そして皆さんの必要だと思ったから作った、好きだから作った、技術を見せたくて作った、そんな若々しい熱い想いを楽しみにしています。

# U<sup>38+</sup>22 プログラミング・コンテスト2017

## 2 実行委員・審査委員コメント紹介

---

U-22プログラミング・コンテスト2017委員の皆様からのコメントをご紹介します。

今回は2017年から新たに参加いただいた委員2名をご紹介します。

### ▼実行委員

芦原 栄登士（株式会社Cygames 取締役CTO）

◇大手コンシューマーゲーム会社で開発に従事しながら、MBAを取得。  
全世界規模のゲームサービスネットワーク基板開発におけるサーバー構築  
・運用担当経験を持つ。現在は、5,000万人のユーザーを抱えるCygames  
取締役CTOとしてインフラからゲーム開発までを主導中。

"「最高のコンテンツ」を作るため、チーム・サイゲームスで最高の技術を  
追い求める"

「日本のゲーム業界をもう一度世界一にしたい」私自身にはそんな夢があり  
ます。私たちが目指すのは、新しい分野であるスマートフォンのゲームや、新  
しい技術の研究開発を通して「最高のコンテンツ」を作り続け、もう一度日本  
のゲームで世界中のユーザーを楽しませることです。

これからの時代を担うみなさんには、未来に向けて大きな夢と技術力をもっ  
て、挑戦をしてもらいたいです。ご自身の持てる「最高」を発揮し、見る人を  
楽しませてください。

みなさんが考えた、「これはおもしろい！」という感性を見られることを楽  
しみにしています。

### ▼審査委員

石戸 奈々子（NPO法人CANVAS理事長・慶應義塾大学准教授）

◇全国各地でデジタル時代の新しい学びの場を創造。デジタルえほん作家。

よみかきプログラミングの時代です。  
コンピュータはあらゆるモノ、分野、環境に溶け込み、定着し、それらを制  
御しています。

そしてそれらのしくみは全てプログラミングによって生まれています。

プログラミングという新しい表現手段を自由自在に使いこなす力は世界中の  
人との協働を可能とし、自分のアイデアを形にしてくれます。

自分の力を拡張するそんな道具を手に入れて、新しい未来社会を創造してく  
ださい。

# U<sup>38+</sup>22 プログラミング・コンテスト2017

## 3 スポンサー企業紹介

---

U-22プログラミング・コンテストを支えていただく、スポンサー企業についてご紹介いたします。

### 【ゴールドスポンサー】

#### ▼株式会社オービックビジネスコンサルタント（<http://www.obc.co.jp/>）

株式会社オービックビジネスコンサルタントは、「勘定奉行におまかせあれ～！」のCMでおなじみの、基幹業務システム「奉行シリーズ」を軸に、業界No1のシェアとポジションを獲得しているパッケージソフトウェアメーカーです。『奉行シリーズ』は日本全国約55万社以上に導入しており、中堅・中小企業を中心に企業の柱となる基幹業務の効率化に貢献しています。

#### ▼さくらインターネット株式会社（<http://www.sakura.ad.jp/>）

さくらインターネットは、国内最大級の大容量・高速バックボーンと自社運営のデータセンターを所有するインターネットサービス事業者です。高品質かつコストパフォーマンスの高いサービスを提供しております。

代表の田中は、高専在学中にロボコン参加経験もあり、プロコンにおいては、未来へ羽ばたくプログラマーの応援に力を入れております。

## 事務局のつぶやき

---

委員会では毎回様々な内容が真剣に考えられています。例えば…「AI」「IoT」は「ジャンル」といえるのか？組み合わせで成り立つテクノロジーなのでジャンルとはいえないのではないかと、過去、そんな話し合いも行われ、そのために「ジャンル」として追加することを見送った年もありました。しかし、新しい技術として注目されており、さらには「応募してはいけない」といった誤った解釈をする学生もいる。それであれば「ジャンル」として追加しよう！といったようにです。大人特有の既成概念にとらわれがちな私たちは、そんな既成の枠にとらわれない、若さあふれるオリジナルな発想や情熱を感じたい、そしてそんな作品に出会うことが楽しみなのです。

※U-22プロコンメルマガは最新情報をお届けします。

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会  
U-22プログラミング・コンテスト運営事務局  
〒107-00 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル4F  
TEL : 03-6435-5991 FAX : 03-3560-8441 E-mail : u22-info@csaj.jp  
公式Webサイト <http://www.u22procon.com/>